

SKI JUMPING RULE GUIDE

かんたんルールガイド

出典：雪印メグミルクスキー部オフィシャルサイト「ジャンプ雪印メグミルク」より

どうやって勝敗は決まるの？

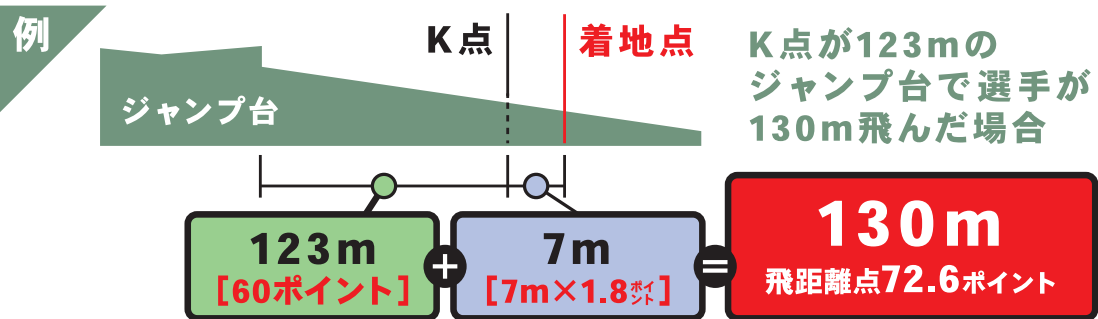
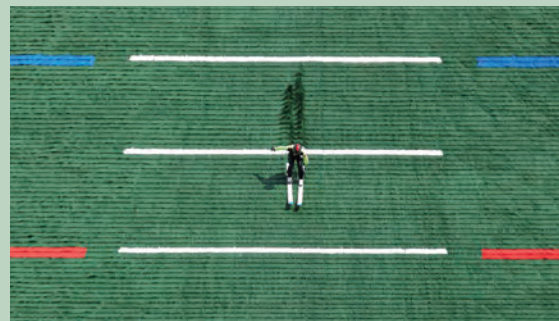
$$\begin{array}{|c|c|} \hline \text{1回目のジャンプ} & \text{2回目のジャンプ} \\ \hline \text{飛距離点} + \text{飛型点} & \text{飛距離点} + \text{飛型点} \\ \hline \end{array} + = \text{順位}$$

選手は2本のジャンプの合計得点で競います。

具体的には飛距離をポイントに置き換えた「飛距離点」と、空中・着地での美しさやダイナミックさをポイントにした「飛型点」との合計。そこから「ウィンドファクター」「ゲートファクター」のポイントが加減されます。同じ距離を飛んでも順位に差が出るのは、そのためです。

飛距離点

飛距離点の計算は、どんな台でもK点を基準とします。K点→60ポイントとし、各選手のK点との距離に応じて1mごとにポイント加減します。1mごとのポイントは台の大きさにより変わります。K点120mの場合は1.8ポイントになりますので、大倉山の場合は、123m以降は1m当たり1.8ポイント加算されます。

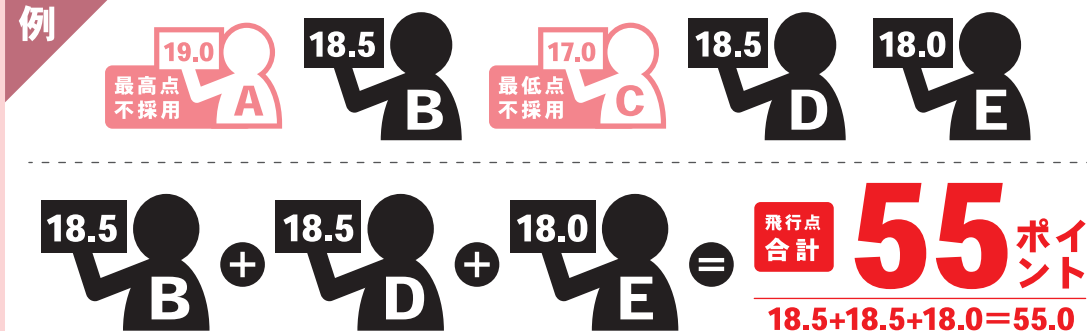


飛型点

空中での美しさ、正確さ、着地姿勢などを5人の飛型審判員が20点満点から0.5ポイントずつの減点法で採点します。公平に行う為、一番高い点数と一番低い点数を除いた3人の点数を合計したポイントが飛型点です。



例



ウィンドファクター

スキージャンプは屋外競技です。そのため、風の状況により飛距離に差が出てしまいます。FIS(国際スキー連盟)では、より公平に競技を行うため、風速、方向によりポイントを加減するルール(加減のポイントはジャンプ台により異なります)。スキージャンプでは向かい風が有利、追い風が不利とされている為、向かい風の場合は減点、追い風の場合は加算となります。



ゲートファクター

気象条件が変わったり、飛び過ぎて危険な場合にスタートゲートの変更を行わなければならない。その為、基本となるスタートゲートから変更する場合、平等を保つためにポイントが加減されます。スキージャンプはスピードが速いと有利なためゲートを上げた場合は減点、スピードが遅いと不利なためゲートを下げた場合は加算される(コーチのオファーで下げた場合、選手はヒルサイズの95%以上飛ばなければ加算はされない)。



選手情報・会場案内MAP・飲食情報は公式ホームページをご覧ください。



札幌市では、地球温暖化に伴う降雪量の減少や雪質の変化によりウインタースポーツへの影響が危惧されていることから、ゼロカーボンシティの実現に向け様々な気候変動対策の取組を実施しています。



アンケートに答えて日本代表サイン入りグッズを当てよう!

来場者アンケートにご回答いただいた方に数量限定でグッズをプレゼント!日本代表選手のサイン入りが当たるかも!?詳しくはQRコードを読み込み、内容をご確認ください。